

平成29年度

下野市教育研究所要覧



小中合同研修



教職2・3年目研修



ICT研修(希望研修)



教職員全体研修

下野市教育委員会

下野市民憲章

わたしたちの郷土 下野市は、姿川と田川が生んだ豊かな土壌と、水・ひかり・風のおだやかな自然環境に恵まれています。

先人達は、ここに美しい田園の景観や古い歴史と伝統をはぐくみ、継承してきました。

わたしたちは、このふるさとを愛し、薰り高い文化を育て、住みよい田園都市をめざして、ここに憲章を定めます。

- 1 自然を大切にし みどりあふれる美しいまちをつくります
- 1 いのちを尊び 心の通う明るいまちをつくります
- 1 みんなで学びあい 文化のかおるまちをつくります
- 1 働くことをよろこび 暮らし豊かなまちをつくります
- 1 力をあわせ 夢がひろがるたのしいまちをつくります

「下野市 市の木・花・鳥」

木 「けやき」	花 「ゆうがお」	鳥 「うぐいす」
		

I 下野市の学校教育

1 学校教育の目標

下野市の学校教育は、知・徳・体のバランスの取れた児童生徒を育成するために、教職員のさらなる資質向上に努め、児童生徒の『学ぶ力』と、『豊かな心』、『健やかな体』の育成に努める。

- 1 自主的に学び、主体的に問題を解決しようとする子どもを育てる。(知)
→ 基本方針1、4、10
- 2 豊かな情操と道徳性を備え、礼儀正しい子どもを育てる。(徳)
→ 基本方針2、7
- 3 自他の生命・人権を尊重し、強い意志と健康な身体をもつ子どもを育てる。
(体)(高い人権意識)
→ 基本方針3、5、7
- 4 勤労・奉仕の精神を理解し、すすんで社会のために尽くそうとする子どもを育てる。(勤労奉仕の精神)(他への貢献)
→ 基本方針6、9
- 5 郷土の文化と伝統・自然に誇りをもち、自信をもって(国際)社会で活躍できる資質を備えた子どもを育てる。(郷土愛)(異文化理解)
→ 基本方針8、9

2 平成29年度の基本方針

◎ 高い教育理念に基づいた創意ある教育活動の展開 (基底理念)

- 1 『学ぶ力』を育む学習指導の推進
- 2 『豊かな心』を育む教育の推進
- 3 『健やかな体』を育む体育・健康・安全教育の推進
- 4 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- 5 一人一人を大切にす人権教育の推進
- 6 自分の生き方を考えるキャリア教育の推進
- 7 心の教育を踏まえた児童・生徒指導の推進
- 8 家庭と地域の教育力を向上させる取組の推進
- 9 思いやりの心を育み、潤いと安らぎのある学校を目指した小中一貫教育の推進
- 10 情報リテラシーを身に付けさせる情報教育の推進

平成29年度学校教育の重点

学習指導要領の趣旨及び内容を確実に実施し、創意ある教育活動を展開する。個々の教職員の創意と自発的な取組の姿勢を基調として、『生きる力』の涵養のため『学ぶ力』の育成と『心の教育』の充実及び『健やかな体』の育成を目指して、基底理念に基づく10項目の基本方針のうち次を重点項目とし、全校協働体制で目標の達成を図る。

- 1 『学ぶ力』を育む学習指導の推進
 - (1) 学びを保障する授業づくり
 - (2) 指導と評価の一体化
 - (3) 自律的な学習習慣の確立
 - (4) 英語教育を含めた国際教育の推進
- 2 『豊かな心』を育む教育の推進
 - (1) 道徳教育の充実
 - (2) 読書活動の充実
 - (3) 体験活動の推進
- 3 『健やかな体』を育む体育・健康・安全教育の推進
 - (1) 体力向上を図る指導の充実
 - (2) 健康・安全教育の推進
 - (3) 望ましい食生活・食習慣形成のための食育の推進

Ⅱ 運営方針

下野市教育研究所設置条例第1条に基づき、下野市教育委員会学校教育の方針を踏まえて、次の諸事業を推進し下野市の教育の向上・充実に努めるものとする。

- 1 学校教育の課題についての調査研究事業
- 2 教職員の資質向上を図るための研修事業
- 3 教育相談・適応支援事業
- 4 資料活用・広報事業

Ⅲ 事業概要

1 学校教育の課題についての調査研究事業

- (1) 学習指導の工夫・改善等についての実践研究を行う。
 (2) 今日の教育課題についての調査研究を行う。

<調査研究>

※全校調査 ☆新規事業

No.	名称	対象	回数(予定)	内容
1	小中一貫教育研究 小中一貫教育プロジェクト委員会	小中一貫教育コーディネーター(16)	2回 ①5月12日(金) ②12月5日(火)	○目指す子ども像の検討 ○小中一貫教育の重点の検討(学力向上に関する) ○各種交流事業の計画等
	小中一貫教育推進委員会☆	小中一貫教育推進委員(各校学習指導主任等:16)	3回 ①6月1日(木) ②11月14日(火) ③2月6日(火)	○小中一貫教育のための系統性のあるカリキュラムについての研究(どんな項目で小中をつなぐのか)
2	小学校社会科副読本の活用研究	校長代表(1) 研究員(12)	7回 ①5月25日(木) (期日は①に調整し決定)	○副読本の活用研究(平成30年度版編集、単元構造図の作成、年間指導計画、評価用テストの改善)
3	学校図書館活用研究	研究員(5)	2回 ①7月14日(金) ②11月	○学校図書館を活用しての読書習慣の形成に向けた実践研究 ○市の図書館との連携
4	小中理科教育推進研究	研究員(5)	2回 ①6月22日(木) ②1月	○小中一貫教育のカリキュラム案編成
5	体力向上研究	研究員(5)	2回 ①6月19日(月) ②11~12月	○全国体力・運動能力等調査結果の分析から、強化種目を決定し、実践事例を示す。
6	道徳教育研究	研究員(5)	2回 ①7月7日(金) ②11月	○道徳の授業実践研究
7	情報教育研究 情報教育推進委員会	顧問(1) 情報教育研究推進委員(4)	2回 ①5月16日(火) (研究会と同日開催) ②1月25日(木) (研修会と同日開催)	○市教育情報ネットワークの効果的な運用についての研究の計画(学習指導、校務支援) ○情報教育に関する研修の企画
	情報教育研究会	顧問(1) 各校情報教育主任(16)	1回 5月16日(火)	○各部会で市教育情報ネットワークの効果的な運用についての研究の実施

				○ICT機器（電子黒板等）活用事例 研修
	教育情報化支援事務部会	研究員(4)	2回 ①5月26日(金) ②2月頃	○ICTを活用した学校事務処理の 効率化に関する研究
8	特別支援教育 推進研究	研究員(3)	3回 ①7月26日(水) ②11月 ③12月	○円滑な引継ぎの在り方について
①	英語教育推進プロジェクト委員会☆	研究員(8)	6回 ①4/24 ②7/10 ③9/25 ④11/2 ⑤12/11 ⑥2/26	○市の小中英語教育推進全体に係る 指導法やカリキュラムの研究
②	下野市学校食育 研究委員会	委員(16) 養護教諭部 会長(1)	2回 期日は後日調整 し連絡	○市の学校食育推進に関する研究
※	長期欠席・いじめ 調査	児童・生徒 指導担当	4回調査 (6、9、12、3月)	○児童生徒の実態把握 ○具体的かつ系統だった支援体制の 整備
※	進路希望・進路 状況調査	進路指導・ キャリア教 育担当	2回調査	○進路希望の実態把握 ○進路状況の実態把握

2 教職員の資質向上を図るための研修事業

(1) 教職員等の資質能力や指導技術の向上を図るための研修を行う。

<一般研修>

名称	対象	期日	内容
教職員全体研修	各校代表 (校長、教頭、 教務主任、事務 主任 研究主任・ 学習指導主任等)	4月7日(金) 午後	○教育行政説明会 ・教育長講話 ・教育予算について(各課) ・教育研究所事業について ・研究学校・事業について
	市内全教職員	8月7日(月) 午後	○教育講演会
	市内全教職員	1月17日(水) 午後	○教育研究発表会

<専門研修>

☆新規事業

No.	名称	対象	期日	内容
1	学習指導主任 研修	学習指導主任 (小・中)	①5月1日(月) 午後	○講話 宇都宮大学 松本 敏 教授 ○学習指導・授業研究に関する情報 交換
2	教職2・3年 目研修	2・3年目教職員 (小・中)	①8月2日(水) 9:00~ ②③未定	○講話、研究協議 ○教科研修 ○授業研究会(小・中)
3	初任者研修	新規採用教職員 (小・中)	8月28日(月) 1日	○講話(教育長)、研究協議 ○市内教育施設、史跡での現地研修
4	理科教育研修	理科担当教員 (小・中)	10月17日(火) 小1日、中午後	○指導方法の工夫改善に関する研修 ○理科研究展覧会・審査会の運営 ○展覧会計画検討
5	小学校訪問研 修(校内研修)	小学校教職員	7~8月 (夏季休業中)	○演習 ○授業研究、研究協議
6	小・中学校英 語研修	小・中学校 英語科主任 外国語活動主任	2回 ①小学校で実施 6月~7月 ②中学校で実施 11月~12月	○小学校・中学校での会場校研修 公開授業及び授業研究会
7	中学校英語授 業研修☆	中学校 全英語担当教員	2回 ①5月 (5/1・5/15・ 5/22)の内1回	○指導法、教材の活用方法に関する 研修

			② 11～12月 (11/20・11/27 12/4)の内1回	
8	ALT 研修☆	市採用 ALT	6回 (5/10 6/21 9/13 11/8 1/31 3/7)	○指導法、教材の活用方法に関する研修
9	道徳教育研修	各校道徳教育推進教師等	6～7月	○授業研究会(国分寺東小)
10	アレルギー研修	研修会場校教職員 希望者	7月6日(木) 木曜日に実施	○食物アレルギー対応についての講話(国分寺東小)
11	児童・生徒指導研修	小学校児童指導主任 中学校生徒指導主事 教育相談担当 教育相談員等	5月15日(月)	○講話(下都賀教育事務所) ○問題行動への対応マニュアルによる問題行動への対応 ○不登校児童生徒への対応に関わる協議 ○学校教育サポートセンター等関係機関との効果的な連携に関する協議
12	特別支援教育 コーディネーター研修	特別支援教育 コーディネーター	① 5月23日(火) ② 11月頃	○説明・情報交換 ○個別の教育支援計画を生かした円滑な支援情報の引継ぎについて
13	特別支援学級 担任研修	特別支援学級 担任	① 4月20日(木) ② 7月頃	○個別の教育支援計画作成・実施について ○講話・演習(通級指導教室担当者研修共催)
14	通級指導教室 担当者研修	通級指導教室 担当者	① 4月13日(木) ② 7月頃	○個別の教育支援計画作成・実施について ○講話・演習(特別支援学級担任研修と共催)
15	市スクールアシスタント研修	全員 ----- 学校生活支援員 (介助) ----- 学校生活支援員 (図書) ----- 学級支援指導助手 細谷小1名 国西小2名	4月3日(月) ----- 9月頃 ----- 4月27日(木) ----- 5月	○職務内容について ----- ○支援の必要な児童生徒との関わりについて ○情報交換 ----- ○学校図書館図書システムの活用について(図書館教育担当者と同様) ----- ○授業参観、協議(学校訪問)

16	人権教育研修	各校人権教育主任等	6～7月	○各校の人権教育の実践に関する情報交換 ○授業研究会（国分寺西小）
17	幼小連携研修	保育士、幼稚園・小学校教諭	① 6月16日(金) ② 7月、12月頃 ③ 2月頃	○総会 ○授業・保育研究会 スタートカリキュラムの理解から作成へ ○情報交換会
18	情報教育研究研修	顧問、情報教育研究推進委員、各校情報教育主任	① 8月21日(月) 午前 ② 10月中旬 ③ 1月25日(木)	○ Pepper・電子黒板等の実技研修 ○情報モラルに関する授業研究会（電子黒板活用も含む：） ○Pepper・電子黒板等の事例研修
19	保健体育主任研修	各校保健体育担当者	2月19日(月)	○全国体力・運動能力等調査からみる市の現状把握 ○中学校区での情報交換
20	給食主任研修☆	各校給食主任	4月14日(金)	○学校給食における食物アレルギー対応について
21	図書館教育担当者研修☆	各校図書館教育担当主任	4月27日(木)	○学校図書館図書システムの活用について(図書支援員研修と同時)
22	進路指導主事研修☆	各中学校進路指導主事	期日は後日調整し連絡	○小中一貫キャリア教育の研修 ○下野市の進路状況について

<希望研修1>

	名 称	対 象	期日・回数	内 容
1	ふるさと学習 現地研修	小・中学校教職員	8月28日(月) 午後	○下野市内史跡、公共施設、公園等の見学、説明 (初任者研修と同日開催：午後のみ)
2	ICT活用研修	小・中学校教職員	8月21日(月) ① 午前 ② 午後	○ Pepper・電子黒板等の実技研修 (情報教育研究研修と同時開催) ○ WinBird 成績処理システムの操作研修等
3	理科実技研修	小学校教職員	8月25日(金) 午前	○理科実験・観察法の研修（初級、中級）
4	音楽実技研修	小・中学校教職員	8月9日(水) 午前	○音楽の指導法についての実技研修
5	ゆうがお CAFE	小・中学校教職員	毎月1回 17:30～ 火曜日(別途連絡)	○英語の授業力向上を目指した実践研修

3 教育相談・適応支援事業 「下野市学校教育サポートセンター」

下野市学校教育サポートセンターは、学校教育上で発生する諸問題の解決を目指す、児童生徒・保護者・教職員のみなさんに向けた相談機関です。

- 受付時間 午前9時から午後4時（木曜日は午後5時半まで）
（土・日曜・祝祭日はお休みです）
- 問合せ 下野市学校教育サポートセンター ☎ 0285-5 2-1 1 4 0
適応指導教室「スマイル教室」 ☎ 0285-5 2-2 1 1 6
- 場 所 下野市花の木2丁目2番25号（下の地図をご覧ください）

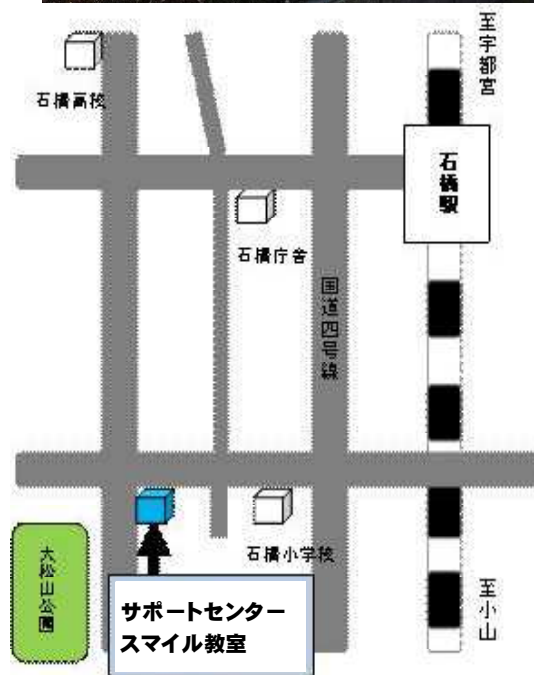
1 相談の方法は…

- (1) 電話による相談もできます。
- (2) 来所しての面接相談もできます。
（※予約制なので事前に日時の調整が必要です。）
- (3) 学校へも直接出向きます。
（保護者や学校の要請に応じ学校訪問し児童生徒の観察や支援会議への協力を行います。）
- (4) 「スマイル教室」での学び活動への参加を支援します。



2 相談・支援の内容は…

- (1) 学校への行き渋りや不登校傾向に関すること
- (2) いじめや友人関係の問題に関すること
- (3) 学習面でのつまずきに関すること
- (4) 感情や行動のコントロールに関すること
- (5) 就学に関すること
- (6) 個別の心理検査の実施に関すること
- (7) 適応指導教室（「スマイル教室」）での学校復帰を目指した学び活動



3 相談の対象者は…

- (1) 下野市内小・中学校に在籍する児童生徒及びその保護者
- (2) 下野市内小学校へ就学予定の年長児及びその保護者
- (3) 下野市内小・中学校に勤務する教職員

4 学校教育サポートセンタースタッフ

教育相談員 8名、臨床心理士 2名、学校教育課職員

～学校教育サポートセンターはこのような施設です～



適応指導教室「スマイル教室」とは…

- 1 不登校児童生徒の学び活動を支えるための教室です。
- 2 学校へ行けないでいる児童生徒の悩みを、学び活動を通して軽減し、楽しく生活しようとする意欲を引き出すためにみんなでがんばります。
- 3 学び活動を通して基礎学力を補充し、体験活動や創作活動を通して集団への適応力を高め、学校復帰への手助けを行います。

入級対象は…

学校へ行けなくて
悩んでいる
下野市在住の
小・中学生



開級時間は…

毎週
月～金曜日
9：30
から
15：00

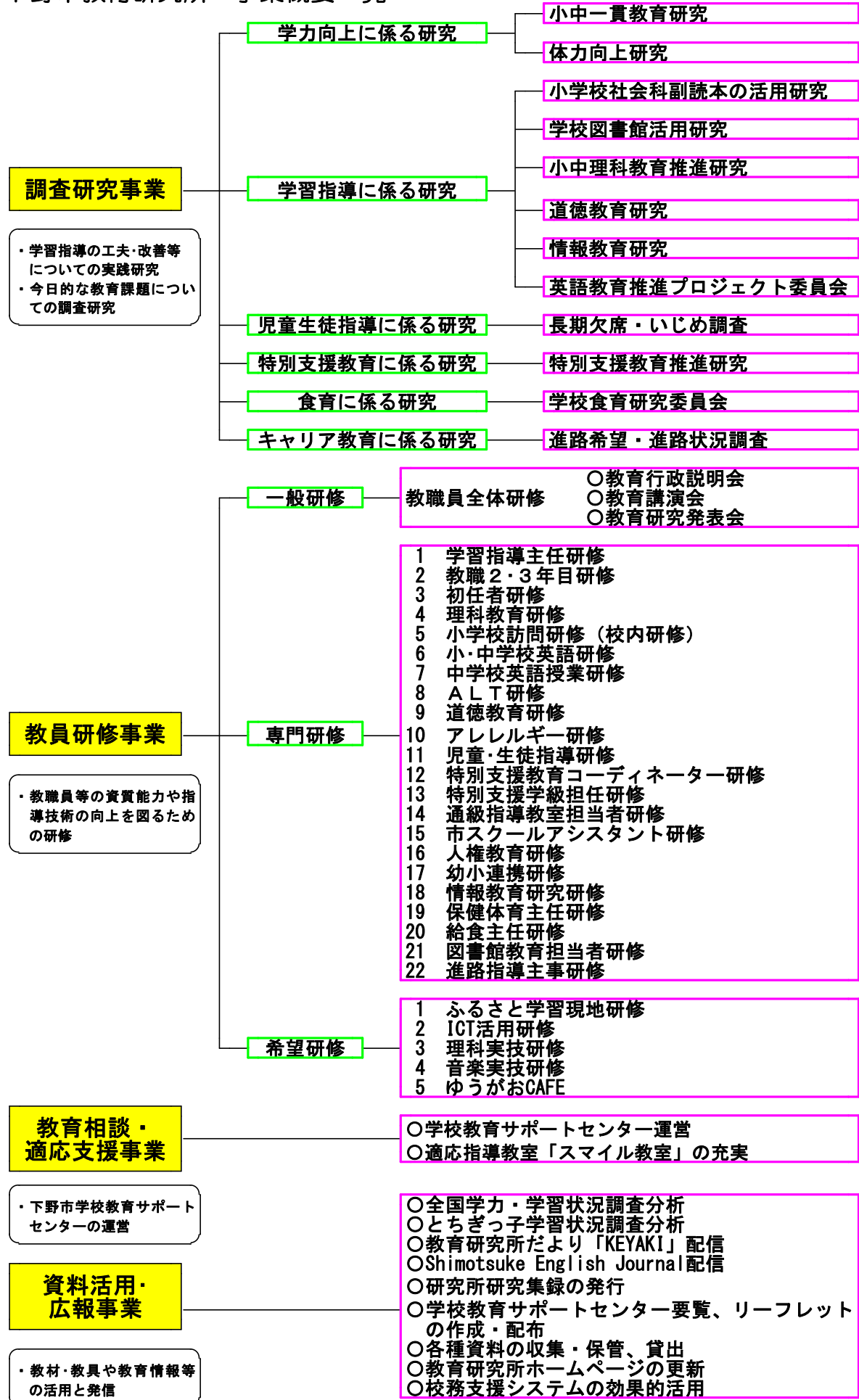
活動内容は…

〈学び活動〉
・悩み事や心配事の相談
・教科の補充学習
・パソコン等を利用した自主学習
〈体験活動や創作活動〉 等々

4 資料活用・広報事業

- (1) 全国学力・学習状況調査分析
- (2) とちぎっ子学習状況調査分析
- (3) 研究所情報発信誌「KEYAKI」の配信
- (4) Shimotsuke English Journalの配信
- (5) 研究所研究集録の発行
- (6) 学校教育サポートセンター要覧、リーフレットの作成・配布
- (7) 各種資料の収集・保管、貸出
 - ①教育関係図書
 - ②国、県からの刊行物
 - ③教育雑誌
 - ④教科用図書（各社）
 - ⑤教育用デジタル資料 等
- (8) けやきネットを利用した資料の活用・広報
 - ①研究所ホームページの更新
 - ②校務支援システムの効果的活用

下野市教育研究所 事業概要一覧



(付記) 平成29年度指定 研究学校・事業等一覧

番号	研究領域・推進事業	実施校、機関等	指定機関
1	スクールカウンセラー等活用事業	南河内中、南河内第二中、石橋中、国分寺中(拠点校) ※学区の小学校を対象校とする。	文部科学省 栃木県教育委員会
2	学校生活適応支援員(生徒指導推進協力員)配置事業	国分寺小学校	文部科学省 栃木県教育委員会
3	エネルギー教育推進事業(H29)	南河内中学校	文部科学省 栃木県教育委員会
4	学力向上応援団派遣事業(H29～H30)	薬師寺小、吉田東小、吉田西小、石橋中、国分寺中	栃木県教育委員会
5	運動部活動補助員派遣事業	市内全中学校	栃木県教育委員会
6	小中一貫教育推進研究学校指定事業 ①隣接型小中一貫教育実践研究学校(H29～H30) ②施設一体型小中一貫教育推進学校(H29～H32) ③分離型小中一貫教育推進学校(プログラミング学習含む)(H29～H30)	①国分寺中学校区小・中学校 ②南河内中学校区小・中学校 ③南河内第二中学校区小・中学校及び石橋中学校区小・中学校	下野市教育委員会
7	児童生徒英語教育推進事業 ①ALT・JTE配置 ②英語教育推進プロジェクト委員会	市内全小・中学校	下野市教育委員会
8	下野市子ども未来プロジェクト事業	市内全小・中学校	下野市教育委員会
9	学校食育推進事業	市内全小・中学校	下野市教育委員会
10	スクールアシスタント配置事業	市内全小・中学校	下野市教育委員会
11	S&Uコラボ事業	市内全小・中学校	下野市教育委員会
12	ユースサポート事業	市内全小・中学校のうち該当校スマイル教室	下野市教育委員会
13	学校提案型特色ある教育活動推進事業	市内全小・中学校	下野市教育委員会
14	確かな学力と芸術推進事業	市内全小・中学校	下野市教育委員会

共同訪問	下野市教育委員学校訪問
○南河内中 5月17日(水)	○祇園小学校(出前教育委員会)
○国分寺小 7月13日(木)	○石橋北小学校
○細谷小 11月15日(水)	○国分寺東小学校
	○石橋中学校
	※ 日程は、後日調整の上連絡

